

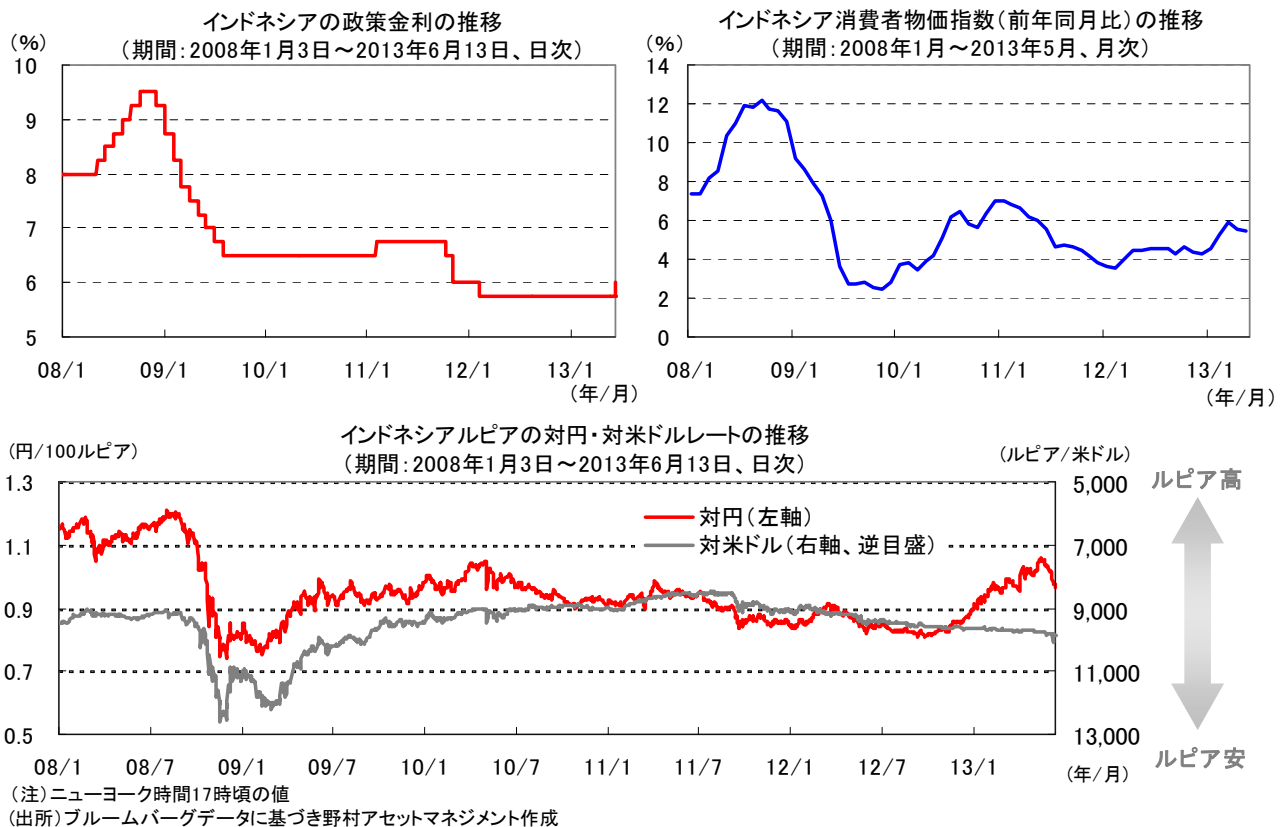
6月13日発表のインドネシアの利上げについて

2013年6月13日、インドネシア中央銀行は政策金利を0.25%引き上げ、年率6.00%とすることを決定しました。同中銀は2011年10月から2012年2月まで利下げを行ない、その後は政策金利を据え置いています。市場では据え置きの見方が大勢を占めていました。

政策金利の引き上げの意図として、声明では「インフレ期待の高まりへの対応と、マクロ経済および金融システムの安定維持」を挙げています。また、インドネシアルピアの下落にも触れ、「為替レートの安定化を継続し、外国為替市場における適正な流動性を維持する」としています。

6月13日の外国為替市場(ニューヨーク時間17時頃)では、対米ドルで前日比0.2%、対円で同0.8%のインドネシアルピア安となっています。

次回の金融政策決定会合は2013年7月11日の予定です。



以上

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。